

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成 31年 2月 28日

事業所名 放課後等デイサービス事業所 きらり

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・メニューの工夫 ・活動スペースを分ける	
	2	職員の配置数は適切である	○			・お子様の特性に配慮して多めに配置しています
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○	・活動場所の住み分け	・スロープの設置 ・トイレの改修工事を行った
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している		○		・本年度よりホームページで公開する予定です
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		・予定はしているが、現在はまだ実施されていません。今後実施できるように準備をしていきます
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・関係機関から研修案内をもらっている	・職員各自が研修会や勉強会に参加し、資質の向上に役立っています
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		・新年度より使用する予定です
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		・グループ分けの工夫	・学校の先生や保護者の方から情報を収集し、職員で話し合いながら課題を設定していきます
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・活動予定表の作成	・活動予定表を作成し、支援の前に職員全体で確認しやすいように工夫しています
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			・支援終了後には、振り返りを行い、気づき等を話し合っています今後も振り返りを行いより良い支援につなげていきたいと思います
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			・記録を確認し、次の日の支援につなげたり、支援会議で検証し目標を考えるとときに役立っています
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○				
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○				

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			・学校とは迎え時に担任の先生と情報交換したり、電話で連絡を取ったりしています	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている					・現在利用実態なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		・引き継ぎシート		・必要に応じて連絡をとって、情報共有と、相互理解に努めています
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○				・会議に参加したり、相談支援事業所に情報提供しています
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		・法人内での研修にセンターの方などを講師として招いている		・必要時には助言を頂いています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○				・地域の小学校へ出かけ、一緒に遊べるように工夫をしています ・地域のイベントにも参加し、交流の機会が増やせるようにしています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○				
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○				
保護者 への説明 責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている			○		・本年度は保護者会に発達障害者支援センターより講師を招き勉強会と座談会を実施しています。年に1度保護者向け講演会を実施しています。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○		・新年度より、何らかの形で保護者同士の連携がとれるように支援していこうと思います。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○				
	35	個人情報に十分注意している	○				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○				・本人にわかりやすい形の視覚支援をしています。 ・保護者の方には、メールや文書等で伝えています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			○		

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○		・マニュアルには策定しているが、周知ができていないと感じています。職員間では研修をして周知をしていきたいと思いません。保護者の方へは、保護者会などで周知していこうと思います。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		・事前学習 ・カードを使った手順書	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			・チェックリストを活用し、職員会議で話しあっています。研修への参加も行っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		・現在食物アレルギーのお子様の利用がありません
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			・ヒヤリハットの事例があった場合には、職員会議で検証し、対応を見直すようにしています。